

盛岡りんごに係るプロモーションについて

1 趣旨

本市を代表する農産物である「盛岡りんご」の美味しさと魅力を市民に伝えることにより、特産品としてのブランド力を高めることを目指し、各種プロモーションを展開します。

2 盛岡りんごの特長

盛岡市内で生産されたりんごを「盛岡りんご」といい、以下の特長があります。

- ・本市は収穫期の昼夜の寒暖差が大きいことから、糖度が高いのが特長です。
- ・多くの生産者が、糖度が高まり、最も食べ頃になった状態で収穫する「樹上完熟（じゅじょうかんじゅく）」にこだわって生産しています。
- ・本市は、本州で初めて本格的なりんご栽培を始めた「りんごの先進地」です。明治5年（1872年）に南部藩士の子である古澤 林（ふるさわはやし）が、りんごの苗木を現在の盛岡市立中野小学校校庭となっている場所に植えたことが「盛岡りんご」の始まりです。
- ・世界で最も多く生産されている品種「ふじ」の原木は、盛岡市内に残されています。
- ・りんご栽培面積は、本市が県内でもっとも広く、第1位です。
- ・1世帯当たりのりんご消費量は、支出金額、購入量とも本市が全国第1位です。

3 キャッチコピー

複数の川や湧き水などの自然に溢れた盛岡で、豊かな水と土壌によって育まれている農畜産物。「それらが当たり前のように手に入る生活は、実はとても贅沢なのでは」という盛岡の魅力に気づいていただくため、盛岡りんごを取り巻く自然環境や生産者の姿勢などの特長を「ここは、りんごが喜ぶところ」というキャッチコピーで表現し、りんごを用いた写真とともにデザインしたビジュアル（右写真）を活用することとしたものです。



4 今後取り組む事業内容

(1) PR活動

ア 街なか広告

- ・市庁舎（本庁舎、都南総合支所及び玉山総合事務所）（9月中旬～令和8年1月）
- ・肴町アーケード（10月～11月）
- ・市内観光施設（10月～令和8年1月）
- ・盛岡駅周辺（駅ビル内外、地下道、バスロータリーなど）（10月中旬～11月中旬）

イ 市内産直やスーパーの売り場、商業施設でのPR（10月～12月）

ウ ラジオCM（11月）

(2) 啓発活動

ア 広報もりおかでの連載記事（3回、9月～11月の1日号）

イ 盛岡りんごゲームの体験会（10月25日～26日、盛岡市農業まつり）

ウ 仕掛け絵本による読み聞かせ（11月8日、キッズフェスティバル）

(3) メニュー開発

ア ランチ提供、弁当販売（10月8日～10日、リリオ2階 Créer（クレエ））

イ アップルパイ（フェザンおでんせ館「創菓工房みやざわ」で販売予定）

(4) 販売会・イベント開催

ア 盛岡りんご販売会

- ・盛岡市農業まつり（10月25日～26日10時～15時、もりおか歴史文化館前広場）

- ・初出し！サンふじ特別販売会（11月9日10時～15時、サンフレッシュ都南）
- イ イベント開催
 - ・盛岡りんごフェア（10月20日～11月16日、盛岡駅ビルフェザン）
フェザン内の飲食店5店舗で、盛岡りんごを使った料理を提供
 - ・キッズフェスティバル（11月8日、盛岡駅ビルフェザン）
盛岡りんごを題材にした子ども向け体験イベント

資料

1 県内市町村のりんごの栽培面積

順位	1位	2位	3位	4位	5位
自治体名	盛岡市	花巻市	奥州市	紫波町	二戸市
栽培面積（ha）	394	268	251	145	130

出典：農林業センサス2020「販売目的の果樹類の品目別栽培経営体数と栽培面積」

2 全国のりんごの消費量

順位	1位	2位	3位	4位	5位
自治体名	盛岡市	青森市	福島市	秋田市	山形市
支出金額（円）	9,262	7,748	7,327	7,028	6,927
自治体名	盛岡市	青森市	山形市	秋田市	長野市
購入数量（g）	20,507	19,772	14,640	12,782	11,147

出典：令和6年家計調査

「都市階級・地方・都道府県庁所在市別1世帯当たり支出金額、購入数量及び平均価格」

参考

「生産者・事業者・消費者が地域の食と農の価値を認識し、一体となって盛り上げるまち」を目指す将来像として掲げ、「美食王国もりおか」というフレーズとロゴマークのもと、様々な取組を進めています。最新の情報はInstagramアカウントで御覧いただけます。



ロゴマーク



Instagram アカウント

【担当】農政課食と農の連携推進室
室長 田村 友季
電話 019-626-2270